



# 見終えたあなたへ

が、こいい、かあいい、大きい、きわいなど 今日皆さんがホッキョクグマを見て感じたことは様々だと思います。動物園を楽しんで帰ることももちろん大切なことですが、最後にこれだけは忘れないで下さい。

- ・ホッキョクグマは動物園にしかない動物ではないこと
- ・ホッキョクグマも私たちと同じ環境(地球)で生活していること

現在、地球上ではホッキョクグマをはじめたくさんの生き物が絶滅の危機に瀕しています。そして、その原因のほとんどに私たちヒトが関わっています。いまの私たちにとって当たり前になってしまった便利で豊かな生活は、多くの他の生き物の生活を奪った上で成り立っていると言っても過言ではないでしょう。

森を切り開く、海を埋め立てる、資源を求め使い続ける...

動物園はただ動物を見るためだけの施設ではなく、彼らの存在を感じ、認め、興味を持ち、自分たちヒトを見つめ直すためにもあるのではないかと思います。

皆さんの優しさや思いやりの気持ちほんの少し彼らに向けてみると、きっと

## 「白くま絶滅の危機」啓発キャンペーン

みいちゃんは、今年7月に夏から秋に使用している苺「なつみずき」の農場見学のため、北海道中富良野町を訪れました。その際、近くの旭川市旭山動物園に白くまの子どもがいることを聞き、会いに行きました。普段から「白くま」をモチーフにケーキを作っているみいちゃんは、かわいい子ぐまを間近に見て大興奮。しかしそこにあった「見終えたあなたへ」という看板(上の写真)を見てショックを受けます。「地球温暖化」は規模が大きすぎて、その影響を想像することが難しいですが、白くまは居場所がなくなり確実に減少していることを知ったのです。また苺の生産者から北海道も年々暑くなってきて、「なつみずき」の実がなりにくくなっていることを聞き、みいちゃんは少し悲しくなりました。

ホッキョクグマ(白くま)は国際自然保護連合(ICUN)から絶滅危惧種に指定されています。絶滅の大きな原因は地球温暖化によって白くまが生活する北極海の氷が溶けてしまうことです。このまま温暖化が続き地球の最北端にある海水の減少が進むと、白くまは行き場を失い2100年までに絶滅の恐れがあります。

日本で飼育されている白くまも減少していて、2011年に日本動物園水族館協会(JAZA)による「ホッキョクグマ繁殖プロジェクト」が始まり全国の白くまを移動させて繁殖につなげる取り組みが行われています。その中でひととき注目されるのが8頭の子ぐまを産み育てた札幌市円山動物園の母ぐま「ララ」です。

このキャンペーンは工房のSNSや白くまケーキクイズ(左のQRコード)を通じて、白くまやララの家族に興味を持ってもらい、少しでも地球温暖化について考えてもらうことが目的です。温暖化を今すぐ止めることはできないけれど、「白くまの困りごと」を多くの人に知ってもらえれば、少しずつ変わるかもしれない。みいちゃんの白くまケーキを見て、そんなことをちょっとでも思い出してもらえれば嬉しいです。



旭山動物園の「ゆめ」



みいちゃんが作る「白くまの苺ケーキ」



みいちゃんの白くまケーキクイズ

【みいちゃんのお菓子工房】